

## 塩谷南那須地域

### 百選めぐり5箇条

- 1 地域の人に会ったら、一言あいさつを交わしましょう。
- 2 農地は、作物をつくる大切な場所です。なるべく踏み入らないようにしましょう。
- 3 写真を撮る時は、(特に人が写る場合など) 一声かけて了解を得てからにしましょう。
- 4 農作業の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 5 ごみ等は持ち帰りましょう。



- 矢板市
  - 68 大槻
  - 69 塩田
  - 70 平野
- 那珂川町
  - 80 松野
  - 81 和見
  - 82 片平
- さくら市
  - 71 大中
  - 72 上河戸
- 那須烏山市
  - 73 興野
  - 74 小木須
  - 75 志鳥
- 塩谷町
  - 76 上寺島
  - 77 玉生
- 高根沢町
  - 78 上高根沢
  - 79 桑窪



大槻の家並み

大槻地区は、その昔大きな槻の木に九本の尾をもった狐が隠れ住み、その後追われて那須の殺生石となった「九尾伝説」発祥の地です。今でも石蔵を持つ家が並び、石積みの塀と水路が美しい景観を保っています。

農地・水の生きもの調査「あっ、いた！」

大槻地区では、親子が参加する生きもの調査など、地域ぐるみでの生態系保全活動が行われています。逃げる魚も追う子どもたちの様子もとても真剣です。



高原山を仰ぎながらの稲刈り

秋空のもと、高原山を背景に行われる稲刈りの風景はとてものどかで懐かしい田園風景です。



県北部、矢板市の南部に位置する大槻。地区の南には名水百選の尚仁沢湧水を支流に持つ荒川が流れており、東部に広がる水田地帯を潤しています。地区のほぼ中央には、かつて戦の際に築かれた陣城の遺構を残す藤倉山があり、ふもとに鎮座する石上神社には、樹齢400年の一本杉がそびえ立っています。



塩田ダムからの観望

平成12年に完成した塩田ダムは地域農業の重要な水源となっています。堤頂部から望む自然豊かな田園風景は、麦やそば畑、水田、雪景色と四季折々に様々な姿を見せてくれます。



県北部、JR矢板駅から西へ約4kmに位置する矢板市塩田。湧き水が豊富で土地も肥沃なため、昔から米の収穫量に恵まれている地域です。農業用の塩田ダムが造られた那珂川の支流築目川沿いには、緩やかな傾斜に沿って美しい水田が連なっています。

兵庫畑の棚田

平野地区の水田は水源に最も近く、イワナが棲むきれいな水を使用して米づくりを行っています。平成15年からは棚田オーナー制度に取り組み、多くの人たちに棚田の良さを知ってもらおうと地元農家の方々が頑張っています。



県北部、高原山の裾野にある矢板市 平野。八ヶ原南端を水源とする天沼川や沢入沢が流下し、その兩岸の丘陵地には美しい棚田の風景が広がっています。地区西部の溪流沿いには、鉄鉱泉の秘湯、赤滝鉱泉や小滝鉱泉があり、ひなびた湯治宿として古くから親しまれています。



さくら市大中の田園風景

大中地区には、昔ながらの農村の面影が残る季節季節の美しい田園風景が広がっています。また、近くの鬼怒川河川敷では市指定天然記念物の蝶シルビアシジミが生息し、市民による保全活動が行われています。



県中央部、JR氏家駅の西に位置するさくら市 大中。地区の西側には鬼怒川が流れ、沿岸には水田地帯が広がっています。かつてこの地区は、奥州街道の宿場町として栄えた「氏家宿」と、鬼怒川の左岸に設けられた「阿久津河岸」に近かったことから、江戸と奥州とを結ぶ文物交流の要所となっていました。



高原山を望む田園

上河戸地区には、遠景に高原山を望む広々とした田園が広がります。春には、田植えをしたばかりの水田に緑の木々や青い空が映し出され、秋には黄金色に染まった稲穂が波のように風になびきます。



県中央部のさくら市北部、JR矢板駅から南東約8 kmに位置する上河戸。地区の中央を流れる江川の沿岸には、美しく整備された水田が連なります。この地域には、希少な昆虫類が生息する自然豊かなため池が多く残っており、「日本の重要湿地500」にも選定されています。



平群山からの眺望

平群山（へぐりやま）の展望台に登ると、那須連山から日光連山へと続く雄大な山並みを背景に、眼下には清流那珂川の流れと四季折々に変化する興野地区の広々とした田園風景を一望することができます。



県東部、八溝山地の西の麓にある那須烏山市 興野。地区の西を大きく蛇行しながら流れる那珂川の水面では鳥たちが飛び交い、集落を一望する山々は四季折々の彩りを見せています。東部にある地区の鎮守日枝神社では、毎年10月、地元の小中学生による興野ささら獅子舞が奉納されます。



国見の棚田

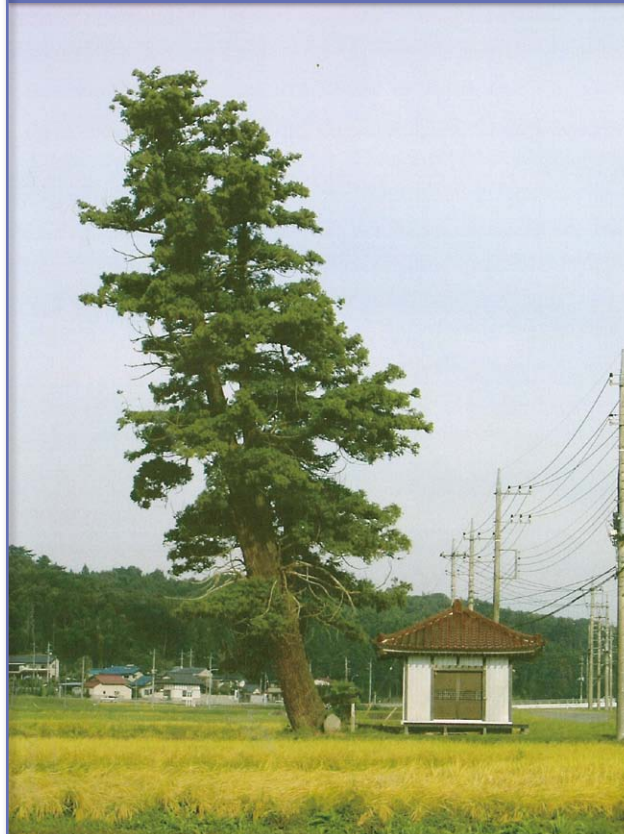
小木須地区にある「国見の棚田」は急斜で奥行きがあり美しく、「日本の棚田百選」にも選ばれています。毎年5月には、棚田の上を鯉のぼりが泳ぎ、谷間を吹き抜ける風にたなびく風景は壮観です。この地域では那珂川から吹き上がる気流により冬季でもあまり霜が降らないことから、棚田を見下ろす丘陵には、日本最北のみかん産地として有名な国見のみかん園があります。



峠のみかん園



県東部、八溝山地の西に位置する山間の集落、那須烏山市 小木須。この地区の国見では、晩秋から初冬にかけて山の斜面いっばいに鮮やかな橙色のみかん畑が広がります。県道を北に上ると、地区北部の山のふもとには、民話に残る石碑群「加熊の力石」が建っており、道行く人々の安全を見守っています。



志鳥上の一本杉と薬師堂

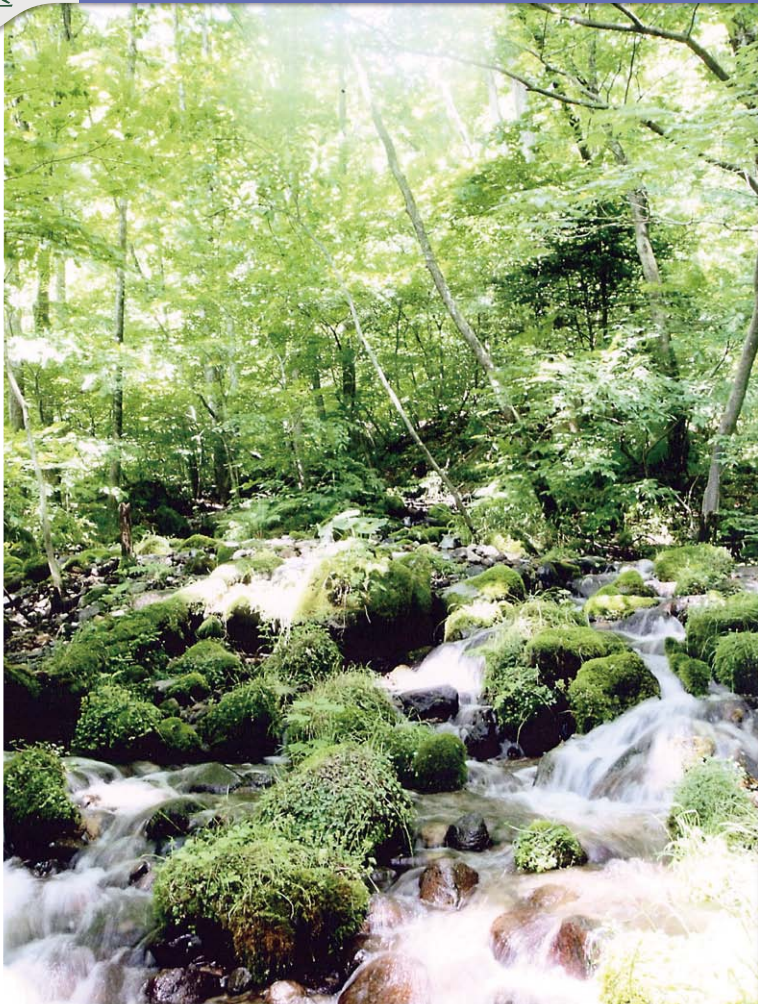
志鳥地区にある一本杉は、二宮尊徳がこの地の農村復興にたずさわったおりに植えられた「尊徳手植えの杉」として伝えられています。また薬師堂は目の神様として信仰され、地元では「薬師さん」と呼ばれ親しまれてきました。



県東部、八溝山地の西側に位置する那須烏山市 志鳥。岩川が地区の中央を流れ、山あいには水田が帯状につらなっています。この地域には、数多くの野仏やお堂、また、かつての戦に備えられた「小志鳥岩」の遺構など多くの歴史的資源が残されており、地元の人々の手によって大切に守られています。

自然の息吹 尚仁沢湧水

尚仁沢湧水は高原山の中腹、樹齢数百年の原生林の中で湧き出る名水で、“名水百選”にも選ばれています。湧水量は1日約6万5千トンと豊富で、古くから近隣の水田を潤し、貴重な水源として地域の人々に愛され親しまれています。



県北部、高原山の山麓に位置する塩谷町 上寺島。地区北東部の山腹からは、名水百選の「尚仁沢湧水」が四季を通しこんこんと湧き出ています。湧水地から北側にかけては樹齢数百年にも及ぶイヌブナなどの自然林が広がっており、地域一帯が国の天然記念物に指定されています。



尚仁沢の恵みで力強く育つ稲穂

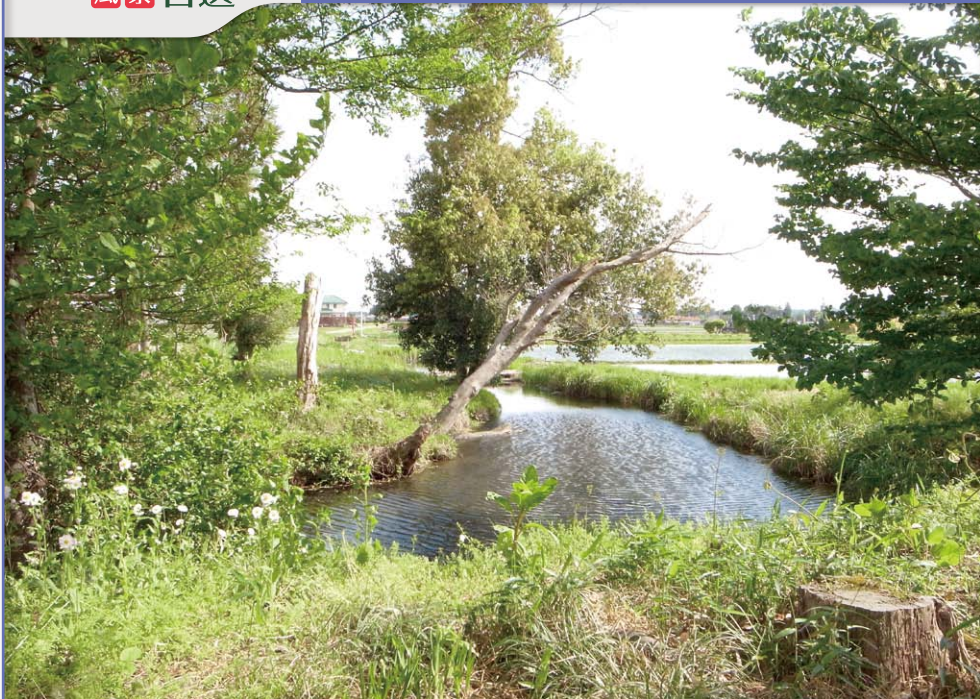
玉生地区に広がる水田地帯では、塩谷町のシンボル高原山麓から湧き出る名水“尚仁沢湧水”を水源としたおいしいお米を育てています。

西山不動尊 奉納相撲

西山不動尊夏の例祭で行われる奉納相撲は江戸時代から続く伝統行事です。かつては四股名をもった地元力士も数多くいたとのことですが、現在は地元の愛好者が東西に分かれて勝敗を競います。



県北部にある塩谷町 玉生。小高い丘が南北に連なる「塩那丘陵」の尾根の間には平地が広がり、肥沃な水田地帯を形成しています。江戸時代、日光北街道の「玉生宿」としてにぎわったこの地区の町並みは、今も宿場の面影を残しており、「芭蕉通り」と名づけられた街道の近くには、俳聖芭蕉が宿泊したといわれる「芭蕉一宿之跡」の碑が立っています。



おだきさん

“おだきさん”は五行川沿いの田園地帯に唯一残る湧水池で、今でも農業用水として利用されており、全国「疏水百選」にも選定されています。名前の由来は、貧しく美しい娘おだきさんの入水伝説によるもので、池のほとりには祠が祭られています。



県中央部の東に位置する高根沢町 上高根沢。地区の東部から中央にかけて広大な水田地帯が開け、西部の丘陵地には昭和44年に開設された御料牧場があります。五行川低地が広がるこの地域には多くの支流が流れ水に恵まれた土地ですが、かつては林から湧き出る湧水地が数多くあり、農業用水として大切に使われてきました。



桑窪加茂神社の梵天祭

桑窪地区では、五穀豊穡を祈願し、毎年3月に加茂神社の梵天祭が行われます。青竹に飾り付けられた梵天を担いで境内の石段を一気に駆け上がり、拝殿に荒々しく突き立て奉納する姿はまさに勇壮そのものです。



そびえ立つ加茂神社



県中央部の東に位置する高根沢町 桑窪。地区内には井沼川や市の堀用水など多くの水路が流れ、広大な水田地帯を潤しています。地区の南東部、喜連川丘陵の支丘の先端には、良好な状態を残す町指定史跡「桑久保城跡」があり、地域による保全活動が行われています。



“おだかけ”を待つ黄金の稲束

清流那珂川の水で育てられた黄金色の稲が刈り取られ、天日干しを行うための“おだかけ”を待っています。手間ひまのかかる作業に農家の愛情が感じられ、懐かしい農村の風景をさらに美しく彩っています。



県東部に位置する那珂川町 松野。那珂川と八溝山地に囲まれた河岸段丘に水田地帯が広がっています。この地区はかつて宇都宮氏の一族松野氏が所領した地域で、城間川を挟み、南には本城の松野南城が、北には出城の松野北城が築かれ、県内有数の畝状堅堀を残す見事な遺構として知られています。



山紫水明

和見地区是那須連山から流れ来る豊富な水に恵まれ、古くから良質なお米の産地となっています。農家世帯が激減する中、増え続ける遊休農地にさつまいもを栽培し、焼酎を作る取組が行われるなど、地域のむらおこしが進められています。

水月の景

水田の写り込みの美しさと、脳に咲く野の花の可憐な姿に思わず目をとめます。



県東部、八溝山地の西側にある那珂川町 和見。中央の山あいを流れる久那川沿いを水田が帯状にっらなっています。地区南部の丘陵の尾根には、平将門にまつわる伝説を残す国指定史跡「唐御所横穴」を始め、20数基からなる和見横穴墓群があります。



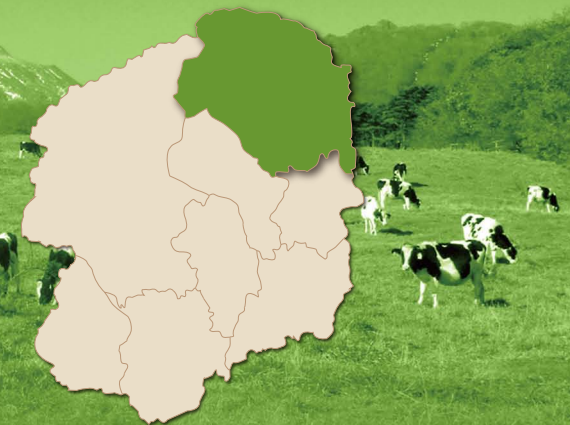
田植えを待つ薫風の田

片平地区は、片平古墳をはじめとする古墳群や、那須官衙（かんが）遺跡、那須神田城址など、多くの史跡が点在する歴史ある地域です。男の子の健やかな成長を願い、五月晴れの空の中を農家の庭先で泳ぐ鯉のぼりの姿は、悠久の歴史を刻む農村の原風景です。



県東部、那珂川の右岸に田畑が広がる那珂川町片平。この地区には親鸞聖人ゆかりのお寺、常円寺があり、御本尊の阿弥陀如来立像をはじめ、聖徳太子絵伝、過去帳、経石、時鐘、また那須与一公の位牌など多くの文化財が残されています。

那須地域



- 大田原市
- 83 佐久山
- 84 親園
- 85 富池・練貫
- 86 福原
- 87 湯津上
- 88 寺宿

- 那須塩原市
- 89 西岩崎
- 90 石林
- 91 三区町
- 92 接骨木

- 那須町
- 93 芦野
- 94 大島
- 95 高久
- 96 袁沢